



SDGsの認知度調査について



日本にも「SDGs」は徐々に浸透してきました。皆さんは「SDGs」のことをあちこちで見たり、聞いたりすると思います。でも、本当に「SDGs」を知っている人はどれぐらいいるでしょう。2019年11月30日（土）の北日本新聞に富山県が県民に対してアンケート調査を実施し、その結果が掲載されました。SDGsという「言葉も意味も知らない」と答えた人は約8割だったそうです。

大高建設はSDGs宣言をしてから、半年が過ぎました。上記のアンケート調査で皆さんはSDGsを知っているほうなのではないかと思えます。

昨年の11月～12月の間に社内のSDGs認知度についてアンケート調査を実施しましたが、今年はSDGsの浸透状況について、企画調査室ではアンケート調査を計画していません。その際には、ご協力をお願いいたします。



富山県立大学学生さんからのインタビューを受けました



11月28日（木）、川添常務、町野さん、田が富山県立大学の学生からインタビューを受け、大高建設でのSDGsの取り組みを紹介したほか、SDGsに取り組む企業へのイメージについてなど学生と意見交換を行いました。

今回の取材は一般社団法人環境市民プラットフォームとやま（PECとやま）が主催するもので、富山県立大学の学生に県内企業のSDGsへの取り組みと現状を知ってもらい、記事にすることで県内のSDGsに取り組む企業の情報を発信していくことを目的としています。

PECとやまは、富山県の市民団体、企業、大学、個人等のメンバーが集まって結成した民間団体でSDGsの普及促進を図ることを目的としており、大高建設でも会員として共同でSDGsの取り組みを行っていくこととなります。今回の取材内容についてはPECとやまのホームページに掲載する予定です。



※皆さん、ぜひ自信を持ってSDGsを取組んでください。

コンパクトコスモス審査について

2019年11月25日（月）に、コンパクトコスモスの審査は無事に終わりました。ご協力いただき、どうもありがとうございました。審査の結果は12月中旬に出ます。また、ご報告いたします。

